

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスikikata		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 12月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所－保護者－相談支援事業所との連絡頻度の高さ。	訪問前後の連絡の徹底を行っている。	更に情報共有のスピードを増すために連絡頻度、報告を増やしていく。
2	客観的視点を取り入れ、公正・公平な対応ができる。	常に一歩引いた姿勢を意識し、三者間の情報を円滑に回すことを行っている。	情報共有のスピードや、連携頻度を上げていくことを意識していく。
3	専門的な視点を取り入れている。	PT・OTを配置し、専門的な視点で話ができるよう取り組んでいる。	専門性向上のため、社内外研修を充実していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	課題数が多い場合は解決に至るまでの時間がかかる。	丁寧な対応を心がけているが、全体像を早くとらえることに時間がかかる。	全体的な視点から、課題を包括的に捉えるために訪問頻度を増やしていきたい。
2	具体的な支援方法を伝える際に、共通言語を見つけるまで時間がかかる。	訪問先と問題点を共有するまでに時間がかかるケースが見られる。	訪問頻度を上げて、早急に問題点を共有する機会を増やす。
3	訪問頻度が徐々に下がっている。	訪問支援員数が足りない。	訪問支援員を増やす。